



発行責任者
校長 原田 尚之

【校長室より】 平成28年度の始めにあたり（チーム五高）

平成28年度が始まり1ヶ月が経ちます。年度末に10名の教職員と別れたばかりですが、本年度は9名の教職員を迎え、新年度がスタートしました。別れの後には、出会いがあります。生徒も同じで、171名の卒業生の門出を見送り、190名の新入生を迎えたところです。

さて、入学式でお話いたしました内容の一つを転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

新入生の皆さん。いよいよ今日から本校の生徒として新しい生活が始まります。この記念すべき日にあたり、皆さんにこれから五高生としての心構えについて、私の所感を述べたいと思います。

一つ目は『ふるさとの発展を軸としたグローバルな視点を養ってほしい』ということです。

ここ数年「グローバル化」「グローバルな視点で」というキーワードをよく耳にします。皆さんにとって、世界的な規模で物事を考える事は、今後必要不可欠になってきます。

また「地方創生」「地域の活性化」というキーワードもよく耳にします。地方創生や地域の活性化は、今や日本が直面する最大の課題の一つです。地域の活性化なくしては日本の発展は望めないとも言われています。すなわち、今からは、地方の発展を軸としたグローバルな視点を持つことが求められています。自分の将来を考えると、地元の身近な出来事から考え始め、それを軸として日本へ、世界へと視野を広げてもらいたいと思います。

もう一つは『チーム五高（五島高校）であってほしい』ということです。

私は、以前もこの五島高校に勤めたことがあります。その時の卒業生、すなわち君たちの先輩と久しぶりに昨年再会しました。そのとき、次のような話をしてくれました。

（昨年度の1月号でも紹介しました）

五島高校の授業は千本ノックだった。

次から次へ課題が出され、それをこなすのに精一杯だった。

就職して初めて、勉強していて良かったと思った。

就職すると、高校や大学の勉強が直接的に関係しているとは限らない。

ほとんどが、新しい事への挑戦だ。常に学んでいないと通用しない。

その学び方は五島高校時代に培われたもの。「千本ノック」のお陰。

「学ぶ姿勢」「自分なりの学び方」を学生時代に身につければ、社会人としても大丈夫。

在校生は、この千本ノックを真正面から受け止めています。

勉強、部活動、他人への思いやり等、様々な千本ノックを先輩達は真正面から受け止め、脳に汗をかき、体に汗をかき、心に汗をかきながら頑張っています。人は心の持ちよう、いくらでも成長できることを、この五高で体験しています。

このような千本ノックを一人で受け止めるのは大変です。しかし、仲間やチームで受け止めれば、乗り越えられます。自分自身を鍛えながら、千本ノックにくじけそうな人をサポートする気持ちや、思いやる気持ちを持ってもらいたい。そして、お互いに切磋琢磨し、五島高校全体、学年全体、クラス全体、部活動全員で、チームとして助け合いながら頑張ってもらいたい。

高校の三年間は、人生の中でも、とても重要な三年間です。皆さんは、これから世に貢献する社会人として、様々なことを身につけなければなりません。時間は、皆さんに平等に与えられています。それぞれの目標に向け、今日からスタートです。春風の中に、新しい一歩を踏み出す新入生の皆さんが充実した高校生活を送りますよう祈念しています。

以上のお話をさせていただきました。教職員一同、新たな気持ちで五島高校の生徒の指導に邁進いたします。今後ともよろしくお願いいたします。

入学式 8日(金)

春の日差しが降り注ぐ中、本校体育館にて、第71回入学式が行われました。国歌斉唱の後、厳粛な雰囲気の中、新入生190名が原田校長から入学を許可されました。校長式辞においては、新入生に対して、先輩たちを見習ってはやく五高生になってほしいこと、地元である五島のことをよく知った上で外の世界に目を向けるグローバルな視点を養ってほしいこと、そして将来は五島のために貢献してほしいことなどが語られました。また、新入生代表宣誓では、1組の谷川淳志君が「学業に専念し、五島高校の伝統の継承と新たな歴史の創造に邁進します」と確かな決意のこもった宣誓を行い、その後、新入生による初々しくも頼もしい校歌が体育館に響き渡りました。今後の高校生活で様々な体験を重ねていくことになると思いますが、入学したときの気持ちを忘れることなく、常に未来に向かって己を磨き、成長できる五高生になってほしいと思います。



入寮式 8日(金)

4月8日(金)、本校メモリアルホールにおいて、入寮式が行われました。今年度は男子11名、女子8名、計19名が入寮しました。式では校長先生から激励のお言葉をいただいた後、入寮生を代表して1年6組の平田莉子さんが誓いのことばを宣誓してくれました。

慣れない環境の中での集団生活は、不安になることもあるかもしれませんが、しかし、寮生活で得ることができる経験は、こらからの人生でかけがえのないものになるはずです。先生方や先輩方の指導を受け、1日でも早く寮生活に慣れ、五島高校での生活を充実したものにしてくれることを、職員一同期待しています。

対面式 12日(火)

4月12日対面式が行われました。まず生徒会長の井関芽生さんが歓迎の挨拶を行い、続いて、1年7組の川端里歩さんが新入生を代表して「不安も多いですが、先生方、先輩方、ご指導をよろしくお願いします」と挨拶しました。

その後、生徒会執行部による劇をまじえての学校行事の紹介や新転任の先生方の自己紹介も行われました。また、吹奏楽部の伴奏で、2・3年生による「蒼き故郷」の歓迎合唱も行われ、新たな出会いへの喜びを大きな声で表現していました。

新入生や新転任の先生方を迎え、五島高校の28年度がスタートしました。今までの伝統を引き継ぎながらも、一人一人が個性や力を発揮し、更に飛躍できるような五高生活を送りましょう。

新入生宿泊研修 13日(水)～15日(金)

4月13日(水)～15日(金)の3日間、国立諫早少年自然の家において1学年の宿泊研修が行われました。この3日間で「真の五高生になる」ことを目標に、様々な活動を行いました。3日間、天候にも恵まれ、日程にわずかな変更もありましたが、すべてのプログラムに意欲的に取り組むことができました。集団行動、校歌遠征歌の練習を通して真剣に取り組み、団結することの大切さを学びました。2日目の五家原岳登山では、クラスの仲間と励まし合いながら登り続け、たどり着いた山頂ではクラスごとに写真撮影を行い、全員で登り切ったという達成感をにじませていました。また、卒業した先輩4名による講話では、「学習について」「部活動との両立について」などそれぞれがわかりやすく話をしてくれました。新入生の方からも「真の五高生とは何か」についての鋭い質問があり、先輩方それぞれの考える「五高生」像を披露してくれました。さらに最後はクラス対抗の「集団行動コンテスト」「校歌・遠征歌コンクール」行われ、それぞれのクラスでまとまりが生まれたように感じます。

この研修の目的は、学年やクラスの融和を深め、五島高校生としての誇りや自覚を身に付けることでした。様々な活動を通して、集団における規律の大切さやクラス毎に協力してひとつのものを作り上げることの素晴らしさを学ぶことができました。この研修で学んだことを日常の中で継続して実践し、この3日間を高校生活の原点として今後の生活に活かしてほしいと思います。

◇集団行動コンテスト◇

優勝 6組
2位 7組
3位 4組

◇校歌・遠征歌コンクール◇

優勝 4組
2位 5組
3位 3組



普通科68回生・衛生看護科41回生 結果総括

進路指導部

- ① 国公立大学合格者数76名（昨年度73名）
- ② 国公立大学合格率55.5%（昨年度50.3%）
- ③ 難関大合格者数8名（京都大学1名、大阪大学2名、九州大学5名）（昨年度3名）
- ④ 公務員合格者（自衛隊除く）3名（五島市役所・福岡県警・横浜市消防）
- ⑤ 衛生看護科：准看護師資格試験合格（19名）

※合格者数は現役生のみ延べ人数

学校全体で見ると、非常によく頑張った結果となりました。特に難関大の合格者数に関してはここ数年では最もよい結果となりました。それ以外でも、それぞれが個々の進路目標に向かって粘り強く取り組む姿も多く見られました。早く進路が決定した生徒も、まだ決まっていないクラスメイトのために、率先して学習に取り組んでいたように思います。他者を思いやるやさしい生徒が多く、我々が助けてもらう場面も多かった学年でした。卒業生のこれからの活躍に期待したいと思います。

新転任の先生方



教頭	畑野 公昭	国語	県教育センターより
教諭	原口 正志	国語	長崎東高校より
教諭	林田 智宏	物理	長崎南高校より
教諭	高橋 絢	英語	大村高校より
教諭	藤松謙之介	地歴	猶興館高校より
教諭	石見 志広	英語	新規採用
主事	山口 純範	事務	教職員課より
講師	川内 将浩	保体	
講師	山村なつみ	国語	

分掌・学年主任の先生方

教務部	久保田幸成	衛生看護科	田中 夢美
生徒指導部	引地 勝	スポーツ	岩元 一章
進路指導部	阿比留憲一	寄宿舎	谷口 享
生徒会指導部	石尾 和貴	第1学年	原口 正志
保健・相談部	茶園 孝一	第2学年	吉田 真也
研修図書部	永山 一朗	第3学年	洲上 透

各学年より

人と関わること→自己刷新

1 学年主任 原口正志

第1学年のみなさん、五島高校への入学おめでとう！みなさんの入学を心から歓迎いたします。さて、4月8日に入学して以来、課題テスト、対面式、スタディサポート、そして諫早少年自然の家での2泊3日の宿泊研修、部活動入部会等々と、本当に慌ただしい日々が続いています。その中で君たちの成長を最も感じることができたのは、宿泊研修です。素直さと変化のスピードに驚かされました。今後の君たちのさらなる成長を期待して、私の思いを述べたいと思います。

まず1つ目は、これから生きていく上で土台となる基本的な生活習慣についてです。挨拶、時間の厳守、他人への気遣いなどについて説明をしました。さらに健康管理や学習習慣など、君たちを支える土台（基礎・基本）を培うにはやはり、日頃からの意識と実践あるのみです。やがて慣れます。今をがんばってください。

そして2つ目は、他者との関わりについてです。人は一人では生きていけません。他者との関わりの中で、時に感化され、時に傷つき、時に喜び合って自分というものを認識していくのだと思います。当然、自己を刷新するにも他者は必要です。周囲の友だち、先生方、地域の方々などとの積極的な関わりを通して、今までの自分の殻を破って「イイネ～」と言える、あるいは言われる自分になってください。君たちはもう決して一人ではありません。

最後に3つ目は、「人のために」という気持ちを持つということです。よく「自分のために」働くという言葉が耳にします。しかし、プロセスとしては、人の役に立つ、社会に貢献できるなどの前提があるからこそ、感謝され、結果として自分の働く意義につながると考えられます。つまり「自分のために」ということにも他者との関わりが不可欠だということになります。今後、将来の職業や学部・学科についての研究を行っていきませんが、ぜひこの視点を持って取り組んでください。

各学年より

「ある日 あるクラスで」

2学年主任 吉田 真也

2年生のあるクラスで授業をしていた時です。「感動」という言葉で表現すると大げさな感じがしますが、生徒の授業に取り組む姿勢を見てうれしくなる出来事がありました。その時に私は「生徒の言動によって感動できる「教員」という職業は素晴らしいよね」と話し、「でも、他の職業の人達は、どのような時に感動しているのだろうか。例えば、コンビニの店員さんは、どのような時に感動するのだろうか」と生徒達に質問してみました。

ある男子生徒は答えました。「レジの前にたくさんのお客さんが並んだ時だと思います」。素直な答えだと思います。ただ、私は、「それは、感動とまでは言えないかもしれないね。それに、お客さんが多いと忙しくなるから、バイトの店員さんだったら、逆にイヤだなと思う人もいるかもしれないよね」と少しひねくれた返答をしました。今度は別の生徒に聞いてみました。するとその男子生徒は数秒考えた後にこう言いました。「店員さんが商品を袋に入れてお客さんに渡す時に、お客さんから「ありがとうございます」と言われた時だと思います」。私が、「それじゃあ、今度実践してみようか」と言うと、多くの生徒が頷いて納得の表情を浮かべていました。

2年生の生徒達と出会って、20日程度でしょうか。私が、この20日間で最も印象的だった出来事です。ここまで読んでくださった方々は、どのように思われましたか。「わざわざ紙面を割いて書くことか」、「ありきたりのやりとりだ」と思った人もいるかもしれません。でも私は、こんな「ありきたり」ならばずっと続いてほしいですし、その予感を感じさせてくれる2年生の生徒達とのこれからの1年間を楽しみにしています。

「3学年のみなさんへ」

3学年主任 瀧上 透

2年前の4月に、真新しい制服に身をまとい、緊張した面持ちで五島高校の正門をくぐった生徒たちが、いよいよ3年生になりました。生徒たちにとっては、進路実現へ向けての「勝負の1年」です。今回の勝負は、これまでの人生で最大の勝負になることでしょう。大勝負をかけるときに自分を支えてくれるものは、それまでに自分が築き上げてきた自信です。数多くの成功体験があればあるほど自信がつくと思いますが、失敗したとしても、その失敗をきちんと分析し次の成功へと結びつける努力を積み重ねれば、きっと自信を持って勝負に挑むことができます。42歳にして、今もアメリカメジャーリーグで現役野球選手として活躍しているイチロー選手が、「小さなことを積み重ねることがとんでもないところへいくための道だ。」「4000本のヒットを打つためには8000回以上の失敗がある。それと常に向き合ってきたことは誇れること。」と言っています。3年生の生徒たちにとって、これからの1年はつらいことや苦しいことが多いかもしれませんが、しかし、目指す頂が高ければ高いほど難所も多いのは当然。あきらめたり逃げたりすることなく果敢に挑ませていきたいと思います。

高校3年生で行われる学校行事は、その一つひとつが生徒たちにとって「高校生活最後の行事」となります。6月の高校総体と9月の体育祭は、3年生にとってはとても大切な行事です。高校総体は会場が島外となるため、応援へ行くのも大変かとは思いますが、ご都合がつけばぜひとも生徒たちの勇姿をご覧いただければ幸いです。また3年生がリーダーとなる体育祭にも足をお運びください。

学習活動・部活動・学校行事などを通して、生徒たちが様々な経験を積むことで、大きく成長し、自分の進路と正面から向き合い進路決定ができるよう、教職員と保護者のみなさまが一丸なり、全力でサポートしていきましょう。最後の1年、どうぞよろしく願いいたします。

PTA総会のご案内 5月21日(土)

PTA総会・学級懇談会を5月21日(土)に開催します。普段見ることのできない生徒たちの授業中の様子や真剣に学習に取り組む姿をぜひ御覧になってください。多数の保護者の皆様の御参加をお待ちしています。

また、今年度は総会の後に、各学年PTA、学級懇談会を予定しております。是非お越し下さい。

午前中	12:30	13:30	14:30	15:35
公開授業	受付開始	PTA総会	各学年PTA	学級懇談会